

## 総探「教科と探究のつながりについての講話」を実施しました！

5月12日（水）6校時「総合的な探究の時間」で、高校1年生・2年生を対象とした、「教科と探究のつながり」についての講話を実施しました。Teamsによるオンライン配信を行い、生徒は各教室で配信動画を視聴しながら学習しました。

長崎東中高生の目指すWWL7の資質・能力には、【①課題発見・解決力、②創造力、③情報分析・活用力、④自己表現力、⑤協働性、⑥学ぶ意欲、⑦地球市民性】の7項目があります。これらの資質・能力は、探究の時間だけではなく、学校のカリキュラム全体で育成していくものです。また、新教育課程に向けて、大学入学共通テストでは、知識を暗記するだけでなく、自ら考えて解答を導き出す探究型の問題も出題されており、探究学習によって身につける資質・能力がますます重要視されつつあることが分かります。そこで、生徒が各教科と探究のつながりについて理解を深められるよう、今回の学習が企画されました。

講話では、国語科・阿比留先生、英語科・山元先生、数学科・猿渡先生、理科・横山先生、地歴公民科・鳥居先生の5名からお話をいただきました。生徒たちは、授業で扱っている内容を探究の視点で捉えなおしながら、「読解力・分析力・表現力を様々な教科で鍛えていくこと」「複数の資料を関連付ける思考力を身につけること」「知識を学ぶだけでなく知識を活用すること」などの重要性について学んでいました。



### 【生徒の感想】

- ・今までは、探究は探究と捉えていたが、それぞれの教科に探究としての課題を見つけることができるのだと考えた。
- ・探究活動と聞いた時は、なんとなく難しそうと思っていましたが、今、社会がそういった活動に重点を置いており、それによって様々な力を得ることができ、勉強や大学でも必要だと知ることができました。
- ・国語だけでなく数学などの問題も読解力がないと読みとれないと感じたので、今から本を読んだり感想を書いたりして読解力をつけたいと思った。また、違う視点から物事を見ることが大事だと思った。
- ・小学校から習い続けている教科にたくさん探究のヒントが隠されていておどろきました。
- ・これからのテストでは、ただ暗記するだけでなく資料や文章を読み取って論理的に思考していく力が試されると思う。だから、今後は積極的に疑問を持って、先生に質問していきたい。
- ・探究との意外なつながりがあって、参考になりました。また、それぞれの教科で、知識だけでなく、それを表現しまとめる力と、読解力がとても重要であると感じました。

